

# 「学習内容シート」中学校第1学年



中学校数学で学ぶ  
内容を確認しながら  
学習を進めましょう

組 号

名前

学習した内容がどれくらい  
分かったか、当てはまる  
番号に丸を付けましょう。  
1...よく分かった  
2...まあまあ分かった  
3...あまり分からなかった  
4...分からなかった

<領域>		<中学校第1学年で学ぶ内容一覧>		教科書の 該当 ページ	内容の 理解度 チェック	
A 数と式	B 図形	1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。 内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれくらい分かったか確認してみましょう。				
C 関数	D データの活用	用語・記号				
A(1) 正の数と 負の数	ア	正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。		自然数 素数 符号 絶対値	~	1 2 3 4
		正の数と負の数の四則計算をすること。			~	1 2 3 4
	イ	具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。			~	1 2 3 4
		算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること。			~	1 2 3 4
A(2) 文字を 用いた式	ア	正の数と負の数を具体的な場面で活用すること。		項 係数 ≦、≧	~	1 2 3 4
		文字を用いることの必要性と意味を理解すること。			~	1 2 3 4
		文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。			~	1 2 3 4
		簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。			~	1 2 3 4
A(3) 一元一次 方程式	イ	数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。		移項	~	1 2 3 4
		具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現すること。			~	1 2 3 4
	ア	方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。			~	1 2 3 4
		簡単な一元一次方程式や比例式を解くこと。			~	1 2 3 4
B(1) 平面図形	イ	等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。		弧 弦 //、⊥ ∠、△	~	1 2 3 4
		一元一次方程式や比例式を具体的な場面で活用すること。			~	1 2 3 4
	ア	角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。			~	1 2 3 4
		平行移動、対称移動及び回転移動について理解すること。			~	1 2 3 4
B(2) 空間図形	イ	図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現すること。		回転体 ねじれの位置 π	~	1 2 3 4
		図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現すること。			~	1 2 3 4
	ア	基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用すること。			~	1 2 3 4
		空間における直線や平面の位置関係を知ること。			~	1 2 3 4
C(1) 比例、反比例	イ	扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めこと。		関数 変数 変域	~	1 2 3 4
		空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。			~	1 2 3 4
	ア	立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現すること。			~	1 2 3 4
		関数関係の意味を理解すること。			~	1 2 3 4
D(1) データの分布	イ	比例、反比例について理解すること。		範囲 累積度数	~	1 2 3 4
		座標の意味を理解すること。			~	1 2 3 4
	ア	比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。			~	1 2 3 4
		比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。			~	1 2 3 4
D(2) 不確定な事象の起こりやすさ	イ	比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。		~	~	1 2 3 4
		ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解すること。			~	1 2 3 4
D(2) 不確定な事象の起こりやすさ	ア	コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること。			~	1 2 3 4
		目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。			~	1 2 3 4
D(2) 不確定な事象の起こりやすさ	イ	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解すること。		~	1 2 3 4	
		多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現すること。		~	1 2 3 4	



## <領域>について

中学校数学科の学習内容は、4つの領域に分けられています。  
数学を学ぶ上で、基礎的な内容となる「A 数と式」「B 図形」の領域と、数学を活用する力を伸ばす「C 関数」「D データの活用」の領域があります。  
4つの領域の間には密接な関連があるため、どの領域の内容も身に付けたいですね。

## チェックの後

丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 1...教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 2...定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 3...教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分からないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 4...分からないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分からない内容と似ている算数の内容(小学校で習った)を探してみましょう。

「学習内容シート」の内容について

※一部

中学校数学で学ぶ「4つの領域」を表しています。

領域ごとに整理された学習内容(単元)のタイトルを表しています。

学習内容の項目ごとに身に付く力の違いを「ア」と「イ」で表しています。  
 「ア」…「概念的な理解や数学を活用して問題解決する方法の理解、数学的に表現・処理するための技能などの力」  
 「イ」…「問題を見いだしたり、知識及び技能を活用して問題を解決したりする際に必要な力」

学習した内容がどれくらい分かったか確認した後に、理解度に応じて、新たな問題発見・新たな知識獲得をしたり学び直しをしたりするための学習の進め方(例)を示しています。

**中学校数学で学ぶ  
内容を確認しながら  
学習を進めましょう**

**「学習内容シート」中学校第1学年**

組 \_\_\_\_\_ 号 \_\_\_\_\_

名前 \_\_\_\_\_

学習した内容がどれくらい分かったか、当てはまる番号に丸を付けましょう。

1…よく分かった  
2…まあまあ分かった  
3…あまり分らなかった  
4…分からなかった

<領域>	<中学校第1学年で学ぶ内容一覧> 1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。 内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれくらい分かったか確認してみましょう。	教科書の該当ページ	内容の理解度チェック
A 数と式	正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。	自然数	~ 1 2 3 4
B 図形	正の数と負の数の四則計算をすること。	素数	~ 1 2 3 4
C 関数	具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。	符号	~ 1 2 3 4
D データの活用	算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること。	絶対値	~ 1 2 3 4
A(1) 正の数と負の数	正の数と負の数を具体的な場面で活用すること。	項	~ 1 2 3 4
A(2) 文字を用いた式	文字を用いることの必要性と意味を理解すること。		~ 1 2 3 4
	文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。		~ 1 2 3 4

チェックの後は 丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 1…教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 2…定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 3…教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分からないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 4…分からないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分からない内容と似ている算数の内容(小学校で習った)を探してみましょう。